

令和7年度秋田県放課後児童支援員等認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

＜県北会場＞

科目 ①放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容

- ◆ 放課後児童クラブに関する様々な法令について分かりやすく学ぶことができた。法令などは、自発的に注目する少ないのでよい機会になった。基礎的な知識を身に付けたことで、今後の研修でさらに深く学びを広げていく意欲が高まった。少子化にもかかわらず放課後児童クラブ利用者は増加している。子育て環境が変化していることに目を向け、児童クラブの役割、支援員に求められる役割を改めて考えていきたい。
- ◆ 子ども・子育て支援新制度に伴い対象児童が全小学生になり、市町村を中心になって運営していくことを学んだ。放課後児童クラブの目的は、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図ることであり、学習よりも遊びや生活を重視していくことを理解した。秋田県の放課後児童クラブは、少子化が進んでいるが、利用数は増えている現状を知り、支援員の必要性について学ぶことができた。
- ◆ 放課後児童クラブは、児童に適切な遊び及び生活の場を与えて健全な育成を図ることを目的とし、児童福祉法に基づき市町村の条例の基準により運営されることを学びました。そして、女性の社会進出に伴い少子化にもかかわらず放課後支援の需要が増していることも理解できました。保護者が安心して子育てと就労を両立するために放課後支援の重要性を知り、支援員としての責任の大きさを改めて感じました。これからも研修等で知識を身に付け、子どもたちの発達・成長と自立を促す役割を担うことできるように努め、子どもたちが笑顔で「ただいま」と帰って来られる居場所を提供していきたいと思います。
- ◆ 研修を受講する前は、放課後児童クラブの目的は子どもが安全に過ごす場所だと思っていたが、適切な遊び及び生活の場を与えることが目的だと学ばせていただきました。また、放課後児童クラブでも待機児童が多いことも理解できました。最後のグループワークでは、他の児童クラブの遊びを聞き、いろいろな遊びをしていることが分かり、とても役に立ちました。
- ◆ 放課後児童クラブの目的や役割について理解することができた。少子化が進む中で保護者の仕事状況が変化しており、子育てと仕事を両立するためにも児童クラブが必要とされていることを改めて感じた。全国的にも児童クラブの役割が高まっている中で、私たち支援員は共通理解のもと、子どもたちが安心して安全に過ごせるよう日々創意工夫しながら自らの専門性を高め、児童クラブの質の向上に努めていきたいと思う。